

平成17年度 県土整備部環境配慮事例報告書

位置図・平面図等

事業主管課 都市計画課
 実施機関 南部総合県民局 県土整備部<阿南庁舎>

【事業の概要】

事業の種類 **レクリエーション施設** **公園緑地の整備(都市公園)**
 事業箇所名 **徳島県**
 事業の規模・状況 **約70** **ha** **中規模事業** **施行段階**

【事業の目的及び概要】

当公園は県南部の阿南市に位置し、従来の競技施設を主体とするのではなく公園のテーマを「健康」に置き自然の中で自分のペースで、しかもみんなで楽しくできるスポーツの場を主体として子供からお年寄りまでが気軽に楽しく「健康づくり」ができる公園を目指している。

【実施した環境要素の一覧及びRDBの有無,モニタリングの要否】

大気環境	水環境	地形・地質等	生物多様性	景観	自然とのふれあい	文化財	廃棄物・温室効果ガス等	RDB種の有無	モニタリングの要否
						対象外			

【特に配慮した環境要素と実施事項】

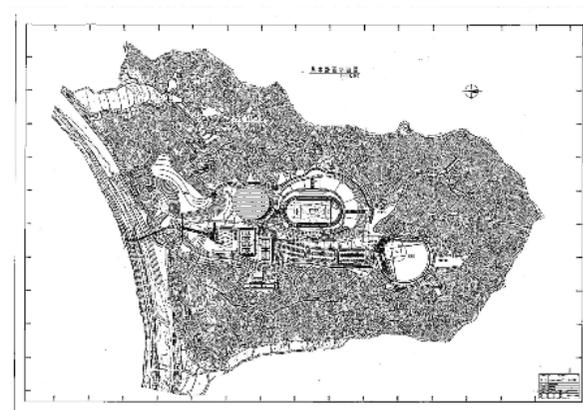
・桑野川がミサゴの採餌場になっている可能性があるため、濁水流出による魚類の減少を抑えるために、濁水処理施設を設置。
 ・ピオトープ水路及びピオトープ池の整備。

【目標に対する達成状況】

・濁水処理施設を設け施工中
 ・ピオトープ水路は、植栽工事を残り整備完了。

【実施事項に対する評価】

実施者	<ul style="list-style-type: none"> ・濁水処理については、特に問題なし。 ・ピオトープ水路等については、公園工事の全てが完了した後に、着工前に確認した生物について状況を確認する必要がある。
主管課	<ul style="list-style-type: none"> ・濁水処理を行い、環境負荷の低減に努めた。 ・ピオトープ水路等の整備により、野生動植物の生育空間の保全に努めた。
専門家	<ul style="list-style-type: none"> ・環境事前調査を実施し、ピオトープ水路や池を造るなど生物多様性についての配慮は見られるが、事前調査の手法や結果については、一考の余地がある。ピオトープについては、復元や保全に重点を置き、調査結果を踏まえ、現地表層土壌の利用などを設計に盛り込めばより良いものになったであろう。ピオトープの保全という観点から、公園東側のため池及び周辺の保全エリアの自然について、バッファゾーンを設定する等して、現在の自然環境が保全されるよう努めること。



写真, 図面等

